

- 問1 北海道の中央南部に位置し、石狩低地帯の東側から南の襟裳岬方面へと南北に連なる険しい山脈の名称として、最も適切なものを選びなさい。
(2024年 岡山県公立入試 類似)
1. 日高山脈 2. 赤石山脈 3. 飛騨山脈 4. 奥羽山脈
- 問2 北海道の自然環境と産業に関連して、網走市や知床半島の沿岸で見られる冬季の自然現象と、その海域の特徴について説明した文として最も適切なものを次の中から選びなさい。
(2025年 群馬県公立入試 類似)
1. オホーツク海に面しており、冬に押し寄せる流氷がプランクトンを運ぶため、豊かな漁場が形成される。
2. 日本海に面しており、暖流の影響で冬も海水温が高いため、流氷が接岸することはない。
3. オホーツク海に面しており、夏になると南東からの湿った季節風によって流氷が再び発生する。
4. 太平洋に面しており、親潮（千島海流）の影響で一年中流氷が漂い、大規模な稲作が行われている。
- 問3 日本最大の面積を持つ地域における産業構造の特徴について、統計資料から読み取れる傾向として適切な説明はどれか、次の中から選びなさい。
(2022年 愛知県公立入試 類似)
1. 広大な土地を利用した大規模な水稲栽培などの農業が盛んである一方、第3次産業の就業者割合は約6割強にとどまっている。
2. 大規模な土地利用による農業は衰退しており、現在は製造業と観光業のみが地域の主要な産業となっている。
3. 製造品出荷額等が約25兆円と極めて高く、第2次産業の就業者割合が第3次産業を大きく上回っている。
4. 日本最大の面積を持つが、寒冷な気候のため水稲栽培は行われず、サービス業などの第3次産業が就業者の大半を占める。
- 問4 北海道において、宿泊施設の延べ宿泊者数や温泉地数が全国的に見て極めて多い水準にある理由と、その観光業の特色について述べた説明として、最も適切なものはどれですか。
(2023年 福岡県公立入試 類似)
1. 首都圏からの距離が近いこと、日帰りの観光客を主なターゲットとした小規模な宿泊施設が特定の都市に集中し、効率的な運営が行われているため。
2. 冬季の積雪が厳しいこと、観光の主力は夏場の避暑や農業体験に限定されており、季節による宿泊者数の変動が極めて大きい構造となっているため。
3. 歴史的な寺社仏閣が全国で最も多く、それらの伝統的建造物を宿泊施設として再利用する取り組みが全道で進んでいるため。
4. 火山帯に位置する地理的条件を活かした温泉地が各地にあり、広大な自然景観やパウダースノーなどの地域資源を求めて国内外から多くの観光客が訪れるため。
- 問5 2012年から2016年にかけての、北海道における外国人宿泊者数の推移と傾向について述べた文として、統計的事実に基づいた正しいものはどれですか。
(2018年 山形県公立入試 類似)
1. 北海道を訪れる外国人宿泊者数は、2012年と比較して2016年には夏季・冬季ともに減少し、日本人観光客中心の構成へと変化した。
2. 2012年から2016年にかけて、外国人宿泊者数は夏季・冬季ともに大幅に増加しており、特に冬季の宿泊者数が夏季を上回る傾向が顕著になっている。
3. 2012年から2016年にかけて、夏季の外国人宿泊者数は順調に増加しているが、冬季については横ばい、または微減の傾向にある。
4. 外国人宿泊者数は通年で増加傾向にあるが、2016年時点の統計においても、依然として夏季の宿泊者数が冬季を大きく上回っている。
- 問6 1977年から2017年にかけての北海道における稲作の動向について、作付面積と総収穫量はともに減少していますが、1ヘクタールあたりの収穫量は増加傾向にあります。このように、一定の土地面積から得られる収穫量が増える背景として、最も適切な説明はどれですか。
(2019年 岡山県公立入試 類似)
1. 化学肥料の使用を一切やめ、伝統的な手作業による農法に回帰したため。
2. 政府の減反政策により、小規模な農家がすべて廃業して大規模農場に集約されたため。
3. 生産技術の向上や寒さに強い品種改良が進み、土地あたりの生産性が高まったため。
4. 地球温暖化の影響のみによって、北海道全域が稲作に最適な亜熱帯気候に変化したため。
- 問7 北海道の農業は、農業従事者一人あたりの耕地面積が非常に広いことが特徴です。このような土地条件のもとで行われている農業のあり方について説明した文として、最も適切なものはどれですか。
(2017年 福岡県公立入試 類似)
1. 土地の生産性を高めるために、多くの労働力を投入する労働集約的な稲作が広く行われている。
2. 広大な農地を効率的に管理するため、大型機械を活用した大規模な機械化農業が展開されている。
3. 限られた土地から高い収益を得るため、ビニールハウスなどを活用した施設園芸農業が中心となっている。
4. 寒冷な気候による被害を防ぐため、耕地面積を小さく抑え、小規模で多品目な栽培を行っている。
- 問8 北海道の中西部を流れる石狩川の下流域には、かつて大規模な泥炭地（湿地帯）が広がっていましたが、土地改良が進んだことで現在は日本有数の稲作地帯となっています。石狩川の河口が面している海域と、その流域に広がる平野の組み合わせとして正しいものはどれですか。
(2019年 岡山県公立入試 類似)
1. オホーツク海と北見盆地 2. 日本海と石狩平野 3. 太平洋と根釧台地 4. 太平洋と十勝平野
- 問9 北海道の倶知安町や二セコ町における外国人宿泊客数の統計では、12月から3月にかけての冬季の客数が突出して多く、他の月との格差が非常に大きいという特徴が見られます。このような宿泊客の動向が生まれている地理的な背景として、最も適切な説明はどれですか。
(2025年 群馬県公立入試 類似)
1. 夏休みの期間を利用した大規模な農業体験が外国人家族連れに普及しているため
2. 梅雨のない気候を求めて、アジア圏から多くの避暑客が長期滞在するため
3. 流氷を観察するための砕氷船観光が、外国人観光客の最大の目的となっているため
4. 世界屈指の雪質を求めて海外から多くのスキー・スノーボード客が訪れるため
- 問10 北海道の日本海沿岸に位置する稚内付近では、5月から6月にかけて月別平均日照時間がピークを迎えます。このような自然環境に関する説明として、誤っているものはどれですか。
(2021年 兵庫県公立入試 類似)
1. 日本海を北上する対馬海流は暖流であり、この地域の気候に影響を与えている。
2. この地域が日本の他地域に比べて高緯度にあることは、夏季の昼の時間が長くなる要因となっている。
3. 5月から6月にかけて日照時間が長くなるのは、梅雨前線の影響を本州ほど受けにくいことも背景にある。
4. 夏季の日照時間が長いのは、寒流である千島海流が宗谷海峡を通過して日本海へ流れ込み、雲の発生を抑えるからである。
- 問11 北海道の北東部に位置し、冬になるとシベリア沿岸から流れてきた「流氷」が網走や紋別、知床半島の沿岸に押し寄せることで知られる海域の名称を選びなさい。
(2025年 群馬県公立入試 類似)
1. オホーツク海 2. 日本海 3. 太平洋 4. 東シナ海

答え合わせ・解説

問1	答え 1 日高山脈	北海道の南部に位置するこの山脈は、その険しさから地域の交通や気候を分ける地理的境界線として機能しています。選択肢にある飛騨山脈や赤石山脈は中部地方（日本アルプス）に位置し、奥羽山脈は東北地方の中央を南北に走る山脈であるため、北海道の地形としては日高山脈が正解となります。
問2	答え 1 オホーツク海に面しており、冬に押し寄せる流氷がプランクトンを運ぶため、豊かな漁場が形成される。	オホーツク海では、1月から3月にかけて流氷が接岸します。流氷には植物プランクトンが大量に含まれており、春に氷が溶け出すとそれらが一気に増殖するため、魚介類が豊富な好漁場となります。この特異な環境は、知床半島の自然保護や、網走・紋別などの地域の観光資源としても極めて重要です。
問3	答え 1 広大な土地を利用した大規模な水稲栽培などの農業が盛んである一方、第3次産業の就業者割合は約6割強にとどまっている。	この地域は、5.1万ヘクタールという広大な水稲作付面積に象徴されるように、第1次産業が強い基盤を持っています。産業全体ではサービス業などの第3次産業が就業者の63.8/パーセントを占めて中心となっていますが、他都府県と比較すると相対的に第1次産業の存在感が大きく、独自の産業構造を形成しています。
問4	答え 4 火山帯に位置する地理的条件を活かした温泉地が各地にあり、広大な自然景観やパウダースノーなどの地域資源を求めて国内外から多くの観光客が訪れるため。	北海道には活発な火山活動に由来する温泉地が数多く存在します。これに加えて、国立公園に指定されるような広大な自然環境や、冬の質の高い雪といった独自の資源が観光の目玉となっています。これらが大規模な宿泊施設の整備と結びつき、高い延べ宿泊者数を維持する要因となっています。
問5	答え 2 2012年から2016年にかけて、外国人宿泊者数は夏季・冬季ともに大幅に増加しており、特に冬季の宿泊者数が夏季を上回る傾向が顕著になっている。	2012年から2016年の統計を確認すると、北海道を訪れる外国人宿泊者数は通年で大きく伸びています。特に冬季（12月～3月）の伸びが著しく、2012年の約117.2万人から2016年には約300.9万人へと急増しました。この結果、冬季の宿泊者数が夏季（6月～9月）の宿泊者数を上回るという、北海道観光の新しい特徴が示されています。
問6	答え 3 生産技術の向上や寒さに強い品種改良が進み、土地あたりの生産性が高まったため。	北海道の稲作は、かつては寒冷地ゆえの不作に悩まされてきましたが、農業機械の導入などの生産技術の進歩や、「ゆめぴりか」や「ななつぼし」といった耐冷性に優れた品種改良の努力により、単位面積あたりの収穫量（土地生産性）を向上させてきました。米の消費量減少に伴う減反政策などで作付面積や総収穫量自体は減っていますが、技術革新によって効率的な生産が可能になっています。
問7	答え 2 広大な農地を効率的に管理するため、大型機械を活用した大規模な機械化農業が展開されている。	北海道の農業は、一人あたりの耕地面積が広いことから、人力による作業ではなく機械の力を借りる必要があります。そのため、大型トラクターなどの導入が進んでおり、他地域に見られる労働集約的な農業や施設園芸農業とは異なり、広大な土地を少人数で管理する大規模な機械化農業が確立されています。
問8	答え 2 日本海と石狩平野	石狩川は、大雪山系に源を発し、北海道中央部を北西へと流れ、日本海に注ぐ一級河川です。その下流域には石狩平野が広がっています。かつては水はけの悪い泥炭地が広がり、農作物の栽培には不向きな土地でしたが、大規模な排水事業や客土（他の場所から良質な土を運ぶこと）などの土地改良が行われた結果、現在では道内最大の稲作地帯となっています。
問9	答え 4 世界屈指の雪質を求めて海外から多くのスキー・スノーボード客が訪れるため	ニセコ周辺は「パウダースノー」と呼ばれる質の高い雪が海外で高く評価されており、オーストラリアを中心とした海外からの観光客が冬のレジャーを目的に集中的に訪れます。統計データにおいて冬季の宿泊客が突出しているのは、この季節的なアクティビティが観光需要の核心となっているためです。
問10	答え 4 夏季の日照時間が長いのは、寒流である千島海流が宗谷海峡を通過して日本海へ流れ込み、雲の発生を抑えるからである。	北海道の日本海沿岸の気候に影響を与える主要な海流は、暖流の対馬海流です。寒流の千島海流（親潮）は、主に北海道の東部や太平洋沿岸を南下する海流であり、夏季に冷たく湿った空気がこの海流上で冷やされると濃霧が発生し、逆に日照時間を短くさせる原因となります。稚内付近の日照時間が長い理由は、高緯度による昼の時間の長さや、梅雨の影響が小さいといった要因によるものです。
問11	答え 1 オホーツク海	北海道の北東側に位置するこの海域は、シベリアのアムール川から流れ込む淡水の影響で塩分濃度が低くなり、冬の厳しい寒さによって海水が凍り、流氷が形成されます。網走や紋別では観光船による流氷見学が盛んであり、知床半島は流氷がもたらす栄養分によって豊かな生態系が保たれていることから世界自然遺産に登録されています。

問1 北海道の経済や文化の変遷について、かつての商業都市である小樽と、自然保護が進む釧路湿原の背景を説明した文として、正しいものを次のうちから選びなさい。 (2021年 鳥取県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|--|---|---|
| 1. 釧路湿原は、寒冷な気候を活かした稲作の適地として開発が進んだが、現在は冷害に強い品種改良の実験場となっている。 | 2. 小樽は、かつて石炭の積み出しやニシン漁の拠点として発展し、現在はその歴史的な倉庫群が観光資源として活用されている。 | 3. 釧路湿原は、農地開発や工業用地としての利用を目的として大規模な埋め立てが行われた結果、世界文化遺産に登録された。 | 4. 小樽は、江戸時代に東廻り航路の終着点として栄えたため、現在も大規模な製鉄所が稼働する重化学工業都市となっている。 |
|--|--|---|---|

問2 北海道の道庁所在地である札幌周辺の地理的特徴と、地名の由来について述べた文として、最も適切なものはどれか。 (2021年 熊本県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|--|---|--|
| 1. 十勝川の流域に広がる十勝平野に位置し、地名は江戸時代の松前藩の役職名に由来する。 | 2. 大規模な火山灰地が広がる根釧台地に位置し、地名は明治時代に移り住んだ屯田兵の出身地に由来する。 | 3. 石狩川や豊平川の堆積作用によって形成された石狩平野に位置し、地名は先住民族であるアイヌの言葉に由来する。 | 4. 広大な泥炭地が広がる石狩平野の沿岸部に位置し、地名は本州から移り住んだ開拓使の言葉に由来する。 |
|---|--|---|--|

問3 北海道の知床や鹿児島県の屋久島など、貴重な自然環境が残る地域では、観察用のデッキや木道を設置する取り組みが行われています。観光客に地域の自然を体験してもらう一方で、踏みつけなどによって自然が破壊されることを防ぎ、環境の保全と観光を両立させるこのような仕組みを何と呼びますか。 (2022年 沖縄県公立入試 類似)

- | | | | |
|--------------|------------|------------|----------------|
| 1. グリーンツーリズム | 2. エコツーリズム | 3. マスツーリズム | 4. バリアフリーツーリズム |
|--------------|------------|------------|----------------|

問4 北海道の知床半島のすぐ東側に位置し、択捉島、色丹島、歯舞群島とともに、日本固有の領土でありながら現在はロシアによって法的根拠なく占拠されている島を何というか。 (2019年 岡山県公立入試 類似)

- | | | | |
|--------|---------|--------|--------|
| 1. 択捉島 | 2. 歯舞群島 | 3. 色丹島 | 4. 国後島 |
|--------|---------|--------|--------|

問5 北海道では、小麦や小豆などの畑作物の生産割合が全国の過半数を超える圧倒的なシェアを占めています。このような高い生産力を支えている北海道の農業の特徴として、最も適切な説明はどれですか。 (2025年 群馬県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|--|---|--|
| 1. 消費地に近い利点を活かし、ピニールハウスなどの施設を用いて出荷時期を早める促成栽培が行われている点 | 2. 1戸あたりの耕地面積が非常に広く、大型機械を活用した大規模農業が行われている点 | 3. 山がちな地形を活かした段々畑が整備され、果樹栽培と稲作を組み合わせた複合経営が行われている点 | 4. 夏でも温暖な気候を利用して、同じ土地で年に2回作物を作る二期作が行われている点 |
|--|--|---|--|

問6 東京都から各道県への旅客輸送に関する統計において、ある道県は鉄道の利用者が約19万人であるのに対し、航空機の利用者が約627万人と突出して多くなっています。この統計が示す道県の名称と、航空機の利用割合が極めて高い理由の組み合わせとして最も適切なものを次から選びなさい。 (2022年 栃木県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|--|--|---|
| 1. 道県名は北海道であり、青函トンネルが貨物専用となっており、旅客が鉄道で海を渡ることができないから。 | 2. 道県名は新潟県であり、山岳地帯を通過する鉄道よりも、直線的に移動できる航空機の方が効率が良いから。 | 3. 道県名は大阪府であり、ビジネス客の利便性を高めるために航空路線の便数が鉄道の運行本数を上回っているから | 4. 道県名は北海道であり、東京都からの移動距離が長いので、所要時間の短い航空機が優先的に選択されているから。 |
|--|--|--|---|

問7 北海道の製造品出荷額等の内訳について、全国平均では約11.6パーセントにとどまる一方で、北海道では全体の約33.1パーセントと3割以上を占め、最も大きな割合となっている工業部門は何ですか。 (2018年 三重県公立入試 類似)

- | | | | |
|---------|---------|---------|----------|
| 1. 化学工業 | 2. 機械工業 | 3. 金属工業 | 4. 食料品工業 |
|---------|---------|---------|----------|

問8 北海道の石狩平野などでは、かつて枯れた植物が十分に分解されずに積み重なった、水分が多く農業に不向きな「泥炭地」が広がっていました。この土地で稲作などを可能にするため、他の場所から質の異なる土を運び入れて土壌の性質を改善する土地改良の手法を何といいますか。 (2022年 三重県公立入試 類似)

- | | | | |
|-------|-------|-------|-----------|
| 1. 客土 | 2. 輪作 | 3. 干拓 | 4. 段々畑の造成 |
|-------|-------|-------|-----------|

問9 1960年から2010年までの50年間で、札幌市の人口は約62万人から約191万人へと3倍以上に急増しました。北海道全体の人口が1950年の約430万人から2010年の約551万人へと緩やかな推移を見せる中で、このような札幌市の人口動態が北海道全体に与えている状況として最も適切なものはどれですか。 (2016年 群馬県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|--|---|--|
| 1. 北海道全体の人口が減少局面に入ったことで、札幌市の人口も2010年に向けて激減した。 | 2. 道内人口に占める札幌市の割合が一貫して上昇し、札幌市への一極集中が進んでいる。 | 3. 道内の各都市が札幌市と同様のペースで成長したため、札幌市の人口占有率は低下している。 | 4. 札幌市の人口増加率よりも北海道全体の人口増加率の方が高く、人口の分散が起きている。 |
|---|--|---|--|

問10 北海道の釧路周辺における夏の気候について、統計資料では「8月の平均気温が約18度と低く、日照時間も短い」という特徴が示されることがあります。このような気候になる理由として、最も適切な説明はどれですか。 (2025年 群馬県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|--|---|---|
| 1. 寒流である千島海流（親潮）によって冷やされた空気が濃霧となり、日射を遮るため。 | 2. オホーツク海高気圧から吹き出す冷たい風「やませ」が、日本海側に低温をもたらすため。 | 3. 冬の季節風が山脈を越えて吹き下ろし、フェーン現象が発生して乾燥するため。 | 4. 暖流である日本海流（黒潮）が湿った空気を運び、大量の降雨をもたらすため。 |
|--|--|---|---|

問11 都道府県別にみた観光地の特徴に関する統計において、自然の観光地数が90か所以上、レクリエーション地数が250か所以上と際立って多い一方で、国指定の重要文化財（建造物）の数は30か所未満にとどまるという特徴を持つ都道府県はどこか、次の中から選びなさい。 (2015年 岐阜県公立入試 類似)

- | | | | |
|--------|--------|--------|--------|
| 1. 東京都 | 2. 奈良県 | 3. 北海道 | 4. 京都府 |
|--------|--------|--------|--------|

問12 日本の都道府県別の統計において、空港の数が14か所と全国で最も多く、新幹線の駅の数が2か所設置されている都道府県があります。この地域において、これほど多くの空港が設置されている地理的な理由として最も適切なものはどれですか。 (2021年 岩手県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|--|---|--|
| 1. 険しい山脈が中央部を走っているため鉄道や道路の建設が難しく、空路が唯一の移動手段となっているため | 2. 日本の国土の約2割を占める広大な面積を持ち、道内の主要都市間を効率的に結ぶ交通手段が必要であるため | 3. 世界遺産の登録数が国内で最も多く、海外からの観光客を各地の観光地へ直接送客する必要があるため | 4. 四方を海に囲まれた島国のような環境であり、本州との往来には航空機を利用する以外の方法がないため |
|---|--|---|--|

答え合わせ・解説

問1	答え 2 小樽は、かつて石炭の積み出しやニシン漁の拠点として発展し、現在はその歴史的な倉庫群が観光資源として活用されている。	小樽は明治から大正にかけて、北海道開拓の玄関口やニシン漁、石炭の積み出し港として急速に発展し、「北のウォール街」と呼ばれるほどの商業都市となりました。現在は当時の石造り倉庫や運河が保存され、重要な観光資産となっています。釧路湿原は開発から免れた貴重な自然として「世界文化遺産」ではなく「国立公園」や「ラムサール条約」による保護の対象となっています。また、釧路付近の気候は稲作には適さず、主に酪農が行われています。
問2	答え 3 石狩川や豊平川の堆積作用によって形成された石狩平野に位置し、地名は先住民族であるアイヌの言葉に由来する。	札幌の市街地は、石狩川の支流である豊平川などが運んだ土砂が積もってきた石狩平野に位置しています。北海道にはアイヌ語を由来とする地名が多く、札幌（サッ・ポロ・ベツ）もその一つです。根釧台地は大規模な酪農、十勝平野は畑作が盛んな地域であり、札幌の位置する地形とは異なります。
問3	答え 2 エコツーリズム	地域の自然環境や文化を損なうことなく、その魅力を観光客に伝える仕組みです。単に観光客を増やして利益を得ることを目的とするのではなく、木道の設置によって植生の破壊を防ぐなど、自然の保全を前提としながら活用を図る点が特徴です。
問4	答え 4 国後島	国後島は、北海道の知床半島の東側に位置する島です。択捉島、色丹島、歯舞群島と合わせて北方領土と呼ばれます。北方領土の中で択捉島に次いで2番目に大きな面積を持ち、根室半島の先に位置する歯舞群島や色丹島などととも、一度も外国の領土になったことがない日本固有の領土ですが、第二次世界大戦の終結直後に当時のソ連によって占拠されました。
問5	答え 2 1戸あたりの耕地面積が非常に広く、大型機械を活用した大規模農業が行われている点	北海道の農業は、明治時代以降の開拓によって農家1戸あたりの経営規模が他の都府県に比べて格段に大きいのが特徴です。広大な十勝平野などを中心に、トラクターなどの大型機械を駆使した大規模な生産体制が整っているため、小麦や大豆などの分野で非常に高い生産割合を維持できています。これに対し、二期作は主に温暖な高知県などの平野部、促成栽培は宮崎県や高知県、段々畑は愛媛県などのミカン栽培などで見られる特徴です。
問6	答え 4 道県名は北海道であり、東京都からの移動距離が長いこと、所要時間の短い航空機が優先的に選択されているから。	東京都から北海道への移動は、距離が非常に長く時間がかかるため、新幹線などの鉄道よりも高速な航空機が選ばれる傾向が顕著です。一般に、交通手段の選択においては「4時間の壁」と呼ばれる基準があり、鉄道（新幹線）での所要時間が4時間を超える場合、航空機のシェアが圧倒的に高くなります。新潟県や大阪府は東京都からの距離が比較的近く、鉄道（新幹線）の利用割合が高い地域であるため、提示された統計データには合致しません。
問7	答え 4 食料品工業	北海道は、広大な農地を活かした大規模な農業や、豊かな漁場を背景とした漁業が非常に盛んです。これらの豊富な農水産資源を加工し、乳製品や水産加工品、砂糖などを製造する工業が発展しているため、工業生産全体に占める割合が全国平均と比べて極めて高いことが特徴です。
問8	答え 1 客土	石狩平野などに広がる泥炭地は、水はけが悪く地盤も軟弱であったため、そのままでは稲作に適しませんでした。そこで、他の場所から肥えた土や粘土質の土を運び込む「客土」という大規模な土地改良が行われました。この努力によって、北海道は日本有数の稲作地帯へと発展しました。干拓は海や湖を仕切って水を出し陸地化すること、輪作は同じ土地で時期をずらして異なる農作物を育てることを指します。
問9	答え 2 道内人口に占める札幌市の割合が一貫して上昇し、札幌市への一極集中が進んでいる。	北海道全体の人口が緩やかな伸び、あるいは横ばい傾向にあるのに対し、札幌市の人口は1960年から2010年の間に約3倍以上という極めて高い伸び率を記録しています。この結果、北海道の総人口に対する札幌市の人口が占める割合は上昇し続けており、特定の都市に人口や経済機能が集中する「一極集中」という地理的特徴が顕著になっています。
問10	答え 1 寒流である千島海流（親潮）によって冷やされた空気が濃霧となり、日射を遮るため。	北海道の太平洋沿岸には寒流の千島海流（親潮）が流れています。夏、この冷たい海面上に南からの暖かく湿った空気が流れ込むと、空気が冷やされて大規模な濃霧が発生します。この霧がカーテンのような役割をして太陽の光を遮るため、沿岸部では日照時間が極端に短くなり、気温が上がらない「夏でも涼しい」気候が形成されます。
問11	答え 3 北海道	北海道は、明治時代以降の開拓という歴史的背景から、京都府や奈良県のような古都と比較して歴史的な建造物の数は少ない傾向にあります。その一方で、広大な土地と豊かな自然環境を活かした国立公園などの自然景勝地や、スキー場・キャンプ場といったレクリエーション施設が非常に多く、自然観光を中心とした独自の産業構造を持っています。
問12	答え 2 日本の国土の約2割を占める広大な面積を持ち、道内の主要都市間を効率的に結ぶ交通手段が必要であるため	北海道は日本の総面積の約22%を占めるほど広大であり、札幌や函館、旭川、釧路といった主要都市間の距離が非常に離れています。そのため、移動時間を短縮し、迅速な物流や人流を確保するために、道内各地に多くの空港が整備されました。また、2016年には北海道新幹線が開通したことで、現在は空路だけでなく、新幹線による陸路での本州との接続も強化されています。

1. 大阪市 2. 札幌市 3. 金沢市 4. 宮崎市

1. 海霧 2. やませ 3. フェーン現象 4. ヒートアイランド現象

1. オホーツク海 2. 東シナ海 3. 日本海 4. 太平洋

1. 十勝平野 2. 庄内平野 3. 石狩平野 4. 根釧台地

1. 沿岸部と高標高地点を比較すると、一月よりも八月の方が地点間の気温差が小さくなる。
2. 標高が高い地点では、地形の影響で八月の平均気温が二十七度を超える。
3. 稚内市などの沿岸部では、標高が高い地点よりも八月の平均気温が高くなる傾向がある。
4. 稚内市是最北端に位置するため、一月の平均気温は道内で最も低いマイナス十二度を下回る。

1. 海岸付近の流路をあえて蛇行させることで砂浜の浸食を防ぎ、現在は広大な塩田として利用されている。
2. 山間部の流路を直線化したことで大規模な扇状地が形成され、現在は一面の畑地となっている。
3. 河川を完全に埋め立てて住宅地としたため、現在は鉄道を中心とした放射状の道路網が広がっている。
4. 蛇行していた河川が直線的に改修され、それに伴い基盤目状の道路が整備され、橋の数も増加した。

1. 全域になだらかな丘陵地が続いており、標高の高い山地は存在しない。

2. 中央部に大規模な盆地が存在し、東西の両端にのみ険しい山岳地帯が位置している。

3. 一箇所だけに孤立した高い火山がそびえており、それ以外の大部分は海拔の低い平坦な土地である。

4. 中央部に大雪山系などの標高2000m級の険しい山地が連なり、その両端に平野が広がっている。

1. 太平洋 — カムチャツカ半島沿岸 2. 日本海 — サハリン沿岸 3. オホーツク海 — シベリア沿岸 4. 瀬戸内海 — 中国大陸沿岸

1. 梅雨の時期に湿った空気の影響を強く受けるため、日本海側よりも6月の降水量が多い。

2. 夏に太平洋側から吹き込む冷たく湿った気流の影響で、日本海側よりも夏に晴天の日が少ない。

3. 冬の北西の季節風が山地で遮られるため、日本海側よりも冬の降水（降雪）量が少ない。

4. 暖流の影響を直接受けるため、日本海側の沿岸部よりも冬の気温が高い。

1. 北西からの湿った季節風が、寒流であるリマン海流の上を通る際に冷やされるため。
2. 南東からの湿った季節風が、寒流である親潮（千島海流）の上を通る際に冷やされるため。
3. 南東からの湿った季節風が、暖流である対馬海流の上を通る際に温められるため。
4. 北西からの乾燥した季節風が、暖流である黒潮（日本海流）の上を通る際に温められるため。

1. アイヌ 2. えみし 3. 屯田兵 4. 防人

1. リマン海流（寒流）の影響で冷やされた空気が、太平洋からの湿った風とぶつかるため
2. 小笠原気団の発達により、南からの温かく湿った空気が年間を通じて供給されるため
3. 対馬海流（暖流）の上を通る湿った空気が、北西の季節風によって運ばれてくるため
4. オホーツク海高気圧から吹き出す冷たく湿った北東風が、山脈を越えて流れ込むため

1. 世界貿易機関 2. 東南アジア諸国連合 3. コネスコ 4. 国連児童基金

1. 高度な技術力を持つ労働力が集中しており、自動車や精密機械などの組み立て工場が密集しているため
2. 電力供給が安定しており、大規模な電力を必要とする金属の精錬や基礎化学品の製造に向いているため
3. 原材料を海外から輸入し、消費地である関東地方に近い港湾部で加工・輸送するのに適しているため
4. 広大な土地や豊かな海から得られる農水産資源が豊富であり、原材料の調達が容易であるため

答え合わせ・解説

問1	答え 2 札幌市	北海道に位置する札幌市は、高い緯度の影響で冬の寒さが非常に厳しく、1月の平均気温が氷点下となります。同じ日本海側に位置する金沢市などは、冬の季節風の影響で降水量（降雪量）が非常に多くなりますが、札幌市はそれらの都市と比較すると1月の降水量は少なめの数値を示す特徴があります。
問2	答え 1 海霧	北海道の太平洋側に位置する根室市や釧路市では、夏に発生する「海霧（移流霧）」の影響を強く受けます。暖かく湿った空気が親潮の冷たい海面によって冷やされて発生するこの霧は、長い時には数日間にわたって沿岸部を覆うことがあり、夏場の日照時間を大幅に減少させる直接的な原因となっています。一方、内陸や日本海側に位置する札幌市などはその影響を受けにくいと、日照時間に大きな差が生じます。
問3	答え 1 オホーツク海	北海道の北東側に位置するこの海域は、シベリアのアムール川から流れ込む淡水の影響で塩分濃度が低くなり、冬の厳しい寒さによって海水が凍り、流氷が形成されます。網走や紋別では観光船による流氷見学が盛んであり、知床半島は流氷がもたらす栄養分によって豊かな生態系が保たれていることから世界自然遺産に登録されています。
問4	答え 1 十勝平野	北海道の東部に広がる十勝平野は、1戸あたりの耕地面積が極めて広く、大型機械を活用した大規模な畑作が行われている地域です。選択肢にある石狩平野は稲作、根釧台地は酪農が盛んな地域であり、それぞれの土地利用の特色を区別することが重要です。
問5	答え 3 稚内市などの沿岸部では、標高が高い地点よりも八月の平均気温が高くなる傾向がある。	北海道の八月の平均気温は、高い地点で二十七度、低い地点で十八度となっており、この差には標高が大きく関係しています。稚内市などの沿岸部は標高が低いと、高標高地点に比べると平均気温は高くなります。一方で、一月の気温分布においても差は見られますが、設問のデータに基づくと、夏季における地点間の気温の開きは非常に顕著な特徴として確認できます。
問6	答え 4 蛇行していた河川が直線的に改修され、それに伴い碁盤目状の道路が整備され、橋の数も増加した。	大正時代などの古い地図に見られる石狩平野は、河川が激しく蛇行し、土地の多くが湿地で橋も少ない状態でした。しかし、現代の状況を示す資料では、治水工事によって流路が直線的に整えられています。これに合わせて、開拓を効率的に進めるために土地が碁盤目状に区画整理され、道路網の整備とともに、分断されていた地域を繋ぐ数多くの橋が架けられるなど、土地利用が高度化しました。
問7	答え 4 中央部に大雪山系などの標高2000m級の険しい山地が連なり、その両端に平野が広がっている。	北海道の中央部には「北海道の屋根」とも呼ばれる大雪山系などの険しい山々が南北に走っています。そのため、石狩平野（西側）から十勝平野（東側）へ向かう断面で見ると、中央付近で標高が2000m近くまで急激に高くなり、両端が低地になるという地形的特徴を示します。
問8	答え 3 オホーツク海 — シベリア沿岸	流氷は、冬にシベリア沿岸で凍った海水が、季節風や海流の影響で成長しながらオホーツク海を南下することで発生します。北海道の北東部に位置するオホーツク海沿岸は、世界的に見ても流氷が到達する緯度が非常に低い地域として知られており、冬特有の自然現象となっています。
問9	答え 3 冬の北西の季節風が山地で遮られるため、日本海側よりも冬の降水（降雪）量が少ない。	北海道の日本海側は冬の季節風の影響で雪が多くなりますが、内陸部は山地によってその湿った空気が遮られるため、雪や雨の量が抑えられます。一方で、内陸部は地表の熱が逃げやすい盆地構造を持つ場所が多く、冬の寒冷な気候は沿岸部よりもいっそう厳しくなるという対照的な特徴を持っています。
問10	答え 2 南東からの湿った季節風が、寒流である親潮（千島海流）の上を通る際に冷やされるため。	日本の夏は、小笠原気団から湿った南東の季節風が吹き込みます。この風が、北海道の東の海域を流れる寒流（冷たい海流）である親潮（千島海流）の上を通る際、海面に冷やされて空気中の水蒸気が水滴になることで濃霧が発生します。この霧は日照時間を減少させ、気温の上昇を妨げる要因となります。
問11	答え 1 アイヌ	北海道の地名の多くは、先住民であるアイヌの人々が使用していた「アイヌ語」に由来しています。例えば「稚内」はアイヌ語で「冷たい水の出る川」を意味する言葉が語源となっており、自然の地形や特徴を反映した地名が各地に残されています。屯田兵は明治時代に北海道の開拓と北方の警備を兼ねて全国から送り込まれた兵士を指すため、先住民とは異なります。
問12	答え 3 対馬海流（暖流）の上を通る湿った空気が、北西の季節風によって運ばれてくるため	日本海側を流れる対馬海流は暖流であり、冬でも海水の温度が比較的高い状態にあります。この海上で発生した水蒸気を、大陸から吹き付ける冷たい北西の季節風が取り込み、北海道西側の山地にぶつかって雪として降らせます。このため、日本海側に面した地域では冬の降水量が多くなる特徴が見られます。
問13	答え 3 ユネスコ	知床の流氷が育む豊かな生態系や、屋久島の樹齢数千年を超える屋久杉などは、人類全体で守るべき価値があるとして世界遺産（自然遺産）に登録されました。こうした遺産の選定や保護を主導しているのがユネスコです。よく似た名称のユニセフ（国連児童基金）は、子供の権利保護や支援を目的とした組織であり、混同しないよう注意が必要です。
問14	答え 4 広大な土地や豊かな海から得られる農水産資源が豊富であり、原材料の調達が容易であるため	工業の立地はその地域の資源と深く関わっています。北海道はジャガイモやテンサイ、乳製品などの農産物、および沿岸・沖合で獲れる水産物が豊富です。これらを腐敗させずに効率よく加工するために、産地に近い場所で食料品工業が発達しました。その結果、全国平均と比較しても食料品工業への依存度が非常に高い産業構造となっています。

- 問1 北海道のオホーツク海沿岸で見られる流氷と、その地域への影響について説明したものととして、最も適切なものはどれですか。 （2018年 山形県公立入試 類似）
- 暖流の影響で海水が蒸発して氷になったもので、夏の冷害を引き起こす原因となっている。
 - シベリア沿岸で生まれた氷が南下してくるもので、冬の重要な観光資源として活用されている。
 - 日本海の雪が海に流れ出て固まったもので、主に水田の灌漑用水として利用されている。
 - 太平洋側から北上してくる大規模な氷山で、冬の間の船舶の往來をすべて止めている。
- 問2 北海道の根釧台地にある別海町と、内陸の盆地に位置する旭川市の夏の気候を比較した際、別海町に見られる特徴と、それに関連した土地利用の様子を述べた文として正しいものはどれですか。 （2016年 大分県公立入試 類似）
- 旭川市に比べて冬の積雪量が圧倒的に多いため、冬の間の産業として酪農ではなく林業が中心となっている。
 - 旭川市よりも夏の気温が高く、日照時間が長いため、広大な土地を利用した稲作や畑作が盛んに行われている。
 - 旭川市に比べて降水量が極端に少なく、夏は干ばつに見舞われやすいため、大規模なダムと灌漑施設を利用した酪農が行われている。
 - 旭川市に比べて夏の気温が明らかに低く、沿岸部から広がる濃霧の影響を受けやすいため、多くの土地が牧草地として利用されている。
- 問3 農業従事者数と耕地面積の関係を示した資料において、他地域が「労働力が多く、耕地面積が狭い」傾向にあるのに対し、北海道は「労働力が少なく、耕地面積が極めて広い」という独自の特徴が見られます。このような北海道の農業の特色を端的に説明したものととして、正しいものはどれですか。 （2024年 福岡県公立入試 類似）
- バイオテクノロジーを駆使した都市近郊農業
 - 労働力集約型による小規模経営
 - 伝統的な手作業を中心とした多角経営
 - 大型の機械を活用した大規模経営
- 問4 2018年の統計において、畑作の農家一戸あたりの耕地面積を比較すると、全国平均が5万平方メートル未満であるのに対し、北海道は約20万から25万平方メートルという圧倒的に高い数値を示しています。このような広大な土地で効率よく耕作を行うために、北海道の農業で一般的に取り入れられている手法として最も適切なものはどれですか。 （2021年 岩手県公立入試 類似）
- 土地を細かく区画分けし、多種類の作物を量らず組み合わせる栽培手法
 - 豊富な労働力を一箇所に集中させ、手作業によるきめ細かな管理を行う手法
 - 大型の機械を導入し、少ない人数でも広範囲の作業を短時間でこなす手法
 - ビニールハウスなどの施設を大規模に建設し、一年中同じ作物を育てる温室栽培の手法
- 問5 北海道における人口分布の変化について、1950年から2010年までの統計的な傾向を説明した文として正しいものはどれですか。なお、この期間において北海道全体の人口は約430万人から約551万人へ、札幌市の人口は約62万人（1960年）から約191万人へと推移しています。 （2016年 群馬県公立入試 類似）
- 札幌市の人口は1960年から2010年にかけて、北海道全体の人口増加分を補えないほど減少した。
 - 北海道全体の人口増加に比例して、道内すべての市町村の人口が均等に3倍以上になった。
 - 道内人口に占める札幌市の割合は、1960年から2010年にかけて一貫して減少傾向にある。
 - 北海道全体の人口が緩やかに増加する中で、札幌市の人口はそれを大きく上回るペースで増加した。
- 問6 北海道の石狩平野で見られる「泥炭地」の土地改良について、その目的と仕組みを説明したものととして最も適切なものはどれですか。 （2022年 三重県公立入試 類似）
- 水分が多く植物の遺骸が堆積した土地に、別の場所から土を運び入れることで、排水性を高め稲作に適した農地にするため。
 - 砂丘が広がる乾燥した土地に、スプリングローなどの灌漑設備を整え、らっきょうやスイカなどの栽培を可能にするため。
 - 山がちな地形で平地が少ないため、斜面を階段状に切り開いて石垣で固定し、日当たりの良さを活かしてみかんを栽培するため。
 - 火山灰が降り積もった水持ちの悪い土地に、粘土質の土を混ぜ合わせることで、水田に必要な水を蓄えられるようにするため。
- 問7 北海道の知床（斜里町など）では、1980年の知床横断道路の開通などをきっかけに、1990年代には観光客数が180万人に達するほど急増しました。これにともなう環境の変化と、その対策として行われた取り組みの説明として最も適切なものはどれですか。 （2022年 栃木県公立入試 類似）
- 1990年代の急激な観光客増加に対応するため、自然保護よりも利便性を優先し、知床半島の奥地まで自由に自動車で移動できる制度を強化した。
 - 観光客の増加によって自然環境が損なわれることが懸念されたため、1999年から自動車の乗り入れ規制を開始し、保全と観光の両立を目指すエコツーリズムのガイドラインを策定した。
 - 世界自然遺産への登録を維持するために、2007年以降は一切の観光利用を禁止し、研究者以外の立ち入りを厳格に制限する方針に転換した。
 - 観光客が減少したことで地域経済が衰退したため、2005年に世界自然遺産に登録されたことを機に、新たな大型道路を建設して観光客の呼び戻しを図った。
- 問8 札幌市の気候の特色を、本州の都市と比較して説明したものととして、最も適切な内容を選んでください。 （2023年 福井県公立入試 類似）
- 1月の平均気温が氷点下となる一方で、梅雨前線の停滞により初夏の降水量が本州の都市よりも多くなる。
 - 緯度が高いため1月の平均気温が氷点下となり、梅雨や台風の影響が少ないため夏季の降水量が本州に比べて抑えられている。
 - 日本海流の影響を強く受けるため、1月の平均気温は氷点下にはならず、年間を通じて降水量が平均化されている。
 - 季節風の影響で冬の降水量は本州の日本海側より多いが、夏季は太平洋高気圧の影響で非常に高温多湿となる。
- 問9 北海道の地理的特徴や自然環境について述べた次の文のうち、知床半島に関連する記述として正しいものはどれか。 （2017年 愛知県公立入試 類似）
- 親潮（寒流）の影響を強く受けるため、夏季には季節風が温められて上昇し、年間を通して降水量が非常に多い地域である。
 - 亜熱帯の気候に属し、独自の進化を遂げた固有種が多く生息することから、小笠原諸島とともに世界自然遺産に選ばれている。
 - 流氷が接岸する北限の地として知られ、広大な泥炭地が広がることから、全域が世界文化遺産に登録されている。
 - 世界自然遺産に登録されており、海と陸の生態系のつながりが保たれているほか、周辺にはラムサール条約登録湿原もみられる。
- 問10 北海道の農業経営に関する二〇〇五年から二〇二〇年の推移について、統計的な事実として正しい説明はどれですか。なお、この期間において農業経営体の総数は減少しており、経営耕地面積の合計は約百七万ヘクタールから約百三万ヘクタールへと微減しています。 （2024年 大阪府公立入試 類似）
- 農業経営体の総数は減少したが、団体経営の数は増加し、経営の集約化が進んだ
 - 経営耕地面積が微減した主な原因は、団体経営の数が大幅に減少したことにある
 - 団体経営の割合が低下したため、一経営体あたりの経営耕地面積は縮小した
 - 農業経営体と団体経営の数がともに増加したため、耕地の奪い合いが起きた
- 問11 夏の北海道東部の太平洋沿岸では、濃霧（海霧）が発生しやすいため、8月の日照時間が約127時間にとどまる釧路のように、札幌（約171時間）と比較して日差しが遮られる傾向があります。この濃霧を発生させる要因となる、北海道の東側を南下する寒流の名称を次の中から選びなさい。 （2021年 茨城県公立入試 類似）
- リマン海流
 - 千島海流（親潮）
 - 日本海流（黒潮）
 - 対馬海流

答え合わせ・解説

問1	答え 2 シベリア沿岸で生まれた氷が南下してくるもので、冬の重要な観光資源として活用されている。	流氷はシベリア沿岸で発生し、海流に乗ってオホーツク海を南下して北海道の北東岸に到達します。かつては漁船の出港を妨げるなどの負の側面が強調されましたが、現在では砕氷船（ガリンコ号やオーロラ号）による観光や、流氷とともにやってくるクリオネなどの観察といった観光資源としての側面が重視されています。他の選択肢にある冷害の原因は主に夏の「やませ」などであり、流氷の性質とは異なります。
問2	答え 4 旭川市に比べて夏の気温が明らかに低く、沿岸部から広がる濃霧の影響を受けやすいため、多くの土地が牧草地として利用されている。	内陸の盆地にあり夏に気温が上がりやすい旭川市に対し、根釧台地に位置する別海町などは海霧の影響を強く受け、夏でも低温であることが統計資料などからも読み取れます。この冷涼な気候を背景に、土地利用においても耕地や果樹園ではなく、牧草地が圧倒的な面積を占めているのが根釧台地の大きな特色です。
問3	答え 4 大型の機械を活用した大規模経営	北海道は平坦で広大な土地に恵まれているため、他地域のような小規模な農地を細かく管理するスタイルではなく、広大な農地を少人数で管理する「大規模経営」が行われています。この形態を維持するために、大型の機械が不可欠な道具となっており、これが北海道の景観や農業の強みとなっています。
問4	答え 3 大型の機械を導入し、少ない人数でも広範囲の作業を短時間でこなす手法	北海道は明治時代以降の開拓の歴史的背景から、一戸あたりの耕地面積が他都府県に比べて非常に広いという特徴があります。これほど広大な面積を家族などの少人数で管理するためには、トラクターやコンバインといった大型の機械による作業の効率化が不可欠です。これを大規模・機械化農業と呼び、労働力不足を補いながら高い生産性を実現しています。
問5	答え 4 北海道全体の人口が緩やかに増加する中で、札幌市の人口はそれを大きく上回るペースで増加した。	数値データを確認すると、北海道全体では約1.3倍の緩やかな増加であるのに対し、札幌市は50年間で3倍以上に達しています。札幌市という一つの都市が、道全体の人口成長を牽引すると同時に、道内の他の地域から人口を吸収する形で拡大を続けてきたことが読み取れます。これが道内における人口集中の実態です。
問6	答え 1 水分が多く植物の遺骸が堆積した土地に、別の場所から土を運び入れることで、排水性を高め稲作に適した農地にするため。	泥炭地は寒冷な気候の影響で植物が腐りきらずに堆積した土地で、スポンジのように水分を大量に含んでいます。このため、農業を行うには「客土」によって土壌を入れ替え、さらに排水路を整備して余分な水分を取り除く必要がありました。他の選択肢にある「火山灰地」は関東地方や九州地方、「砂丘」は鳥取県などの山陰地方、「段々畑でのみかん栽培」は愛媛県や和歌山県などの気候と地形を活かした取り組みです。
問7	答え 2 観光客の増加によって自然環境が損なわれることが懸念されたため、1999年から自動車の乗り入れ規制を開始し、保全と観光の両立を目指すエコツーリズムのガイドラインを策定した。	知床では、道路の開通によってアクセスが向上したことで観光客が急増し、貴重な生態系や景観が損なわれることが課題となりました。これを受け、2005年の世界自然遺産登録の前後から、特定の時期のマイカー規制やエコツーリズムの推進など、自然を「守る」とことと「利用する」ことを両立させる持続可能な取り組みが続けられています。
問8	答え 2 緯度が高いため1月の平均気温が氷点下となり、梅雨や台風の影響が少ないため夏季の降水量が本州に比べて抑えられている。	札幌市が位置する北海道は、日本の最北部に位置するため1月の平均気温が氷点下になるという厳しい寒さが特徴です。また、本州以南とは異なり、梅雨の影響をほとんど受けず、台風の通過も相対的に少ないため、夏季の降水量が本州の主要都市に比べて少なくなるという背景があります。
問9	答え 4 世界自然遺産に登録されており、海と陸の生態系のつながりが保たれているほか、周辺にはラムサール条約登録湿原もみられる。	知床は、流氷が運ぶ栄養分による海洋生態系と、それを糧にするヒグマやシマフクロウなどの陸上生態系が密接に関わっている点が評価され、世界自然遺産となりました。選択肢にある「季節風が温められて」という記述は、親潮が寒流であることを考えると誤りです。また、小笠原諸島は「東洋のガラパゴス」と称されますが、知床とは気候帯も登録理由も異なります。
問10	答え 1 農業経営体の総数は減少したが、団体経営の数は増加し、経営の集約化が進んだ	二〇〇五年から二〇二〇年にかけて、農業経営体数は五百四十七から三百四十九へと減少していますが、団体経営は三十五から四十三へと増加し、その割合は約十二パーセントに達しています。全体の耕地面積に大きな変化がない中で経営体数が減っている事实は、一経営体あたりの規模が拡大し、農業経営が特定の経営体に集約・大規模化されていることを裏付けています。
問11	答え 2 千島海流（親潮）	北海道の東側の太平洋岸には、北の千島列島方面から冷たい海水が流れてくる寒流の千島海流（親潮）が通っています。夏の湿った空気がこの冷たい海面によって冷やされることで水蒸気が凝結し、大規模な濃霧が発生します。これにより、釧路などの地域では夏の日照時間が短くなります。

- 問1 北海道の石狩平野では、かつて激しく蛇行していた石狩川の流路を、人工的に作り替える大規模な治水工事が行われました。このような「河川の直線化」が行われた主な理由と、その後の土地利用の変化について説明した記述として最も適切なものはどれですか。（2021年 神奈川県公立入試 類似）
1. 洪水の被害を軽減して水を速やかに海へ流し、泥炭地を排水して農地を拡大するため。
 2. 水力発電のための貯水池を確保し、周辺に製紙工場を誘致して工業化を進めるため
 3. 内陸部への大型船の通航を可能にし、水上交通を利用した工業地帯を形成するため。
 4. 川の流れを緩やかにすることで土砂を堆積させ、大規模な果樹園を造成するため。
- 問2 1977年から2017年にかけての北海道における稲作の動向について、作付面積と総収穫量はともに減少していますが、1ヘクタールあたりの収穫量は増加傾向にあります。このように、一定の土地面積から得られる収穫量が増える背景として、最も適切な説明はどれですか。（2019年 岡山県公立入試 類似）
1. 地球温暖化の影響のみによって、北海道全域が稲作に最適な亜熱帯気候に変化したため
 2. 政府の減反政策により、小規模な農家がすべて廃業して大規模農場に集約されたため。
 3. 生産技術の向上や寒さに強い品種改良が進み、土地あたりの生産性が高まったため。
 4. 化学肥料の使用を一切やめ、伝統的な手作業による農法に回帰したため。
- 問3 日本の農業に関する統計データにおいて、北海道が他の地方と比較して圧倒的に高い数値を示している二つの項目の組み合わせとして、最も適切なものはどれですか。（2017年 福岡県公立入試 類似）
1. 総農家数に占める兼業農家の割合と、一人あたりの労働時間
 2. 農業従事者一人あたりの農業使用量と、一人あたりのビニールハウスの面積
 3. 単位面積あたりの農業従事者数と、一人あたりの肥料使用量
 4. 農業従事者一人あたりの耕地面積と、一人あたりのトラクター保有台数
- 問4 北海道の石狩平野では、かつて稲作に適さない水分を多く含んだ泥炭地が広がっていました。この土地を農地に変えるために、他の場所から性質の異なる土を運び入れ、もとの土と混ぜ合わせて土壌を改良する方法が行われました。この技術の名称として正しいものを、次のうちから選びなさい。（2024年 福島県公立入試 類似）
1. 開拓
 2. 干拓
 3. 客土
 4. 輪作
- 問5 北海道の農業では、1経営体あたりの経営耕地面積が約30.6ヘクタールと全国平均の約14倍に達する大規模な経営が行われています。一方で、自営農業従事者に占める65歳以上の割合が増加し、総農家数が減少しているという課題があります。このような背景から導入が進められている、ロボット技術やICTを活用した「スマート農業」の主な目的として最も適切な説明はどれですか。（2021年 宮城県公立入試 類似）
1. 化学肥料の使用を一切禁止し、すべての農作業を人力に切り替えること
 2. 労働力不足や高齢化に対応し、作業の負担軽減や効率化を図ること
 3. 経営面積を縮小することで、小規模な家族経営農家を保護すること
 4. 手作業による伝統的な農法を維持し、農産物の希少価値を高めること
- 問6 日本の農業統計において、北海道は他地域と比較して耕地面積に占める牧草地の割合が非常に高いという特徴があります。このような広大な土地を利用した酪農で生産される生乳の利用状況について、正しい説明はどれですか。（2025年 岐阜県公立入試 類似）
1. 生産された生乳は、果樹園の肥料や家畜の飼料としてその大半が地域内で消費されている。
 2. 生産された生乳のほとんどが、鮮度を保持したまま大都市圏へ飲用として出荷されている。
 3. 生産された生乳の8割以上が、バターやチーズなどの加工用として利用されている。
 4. 生産された生乳は、九州地方などの遠方の乳製品工場へ生乳のまま輸送されることが一般的である。
- 問7 日本国内で最大の小麦収穫量を誇る北海道において、生産効率を高めるために展開されている農業経営の特色として、最も適切な説明はどれですか。（2020年 大阪府公立入試 類似）
1. 1戸あたりの耕地面積が広く、大型機械を活用した大規模な土地利用型農業が行われている
 2. 山間部の傾斜地に作られた階段状の畑を利用し、手作業を中心とした緻密な農業が行われている
 3. 温暖な気候を利用して、同一の耕地で年に2回異なる作物を栽培する二毛作が行われている
 4. 大消費地に近い立地を活かし、限られた土地で付加価値の高い野菜を作る集約的な農業が行われている
- 問8 日本の各地域における農業産出額の内訳を比較すると、北海道は東北地方などと比較して「畜産」が占める割合が非常に大きいという特徴があります。北海道において、特に根釧台地などを中心に大規模な畜産業が発達した背景として最も適切なものはどれですか。（2019年 岡山県公立入試 類似）
1. 大消費地である東京に隣接しており、新鮮な果物や野菜を毎日トラックで即座に出荷できる立地条件であったため
 2. 広大な土地を活用した大規模経営が可能であり、冷涼な気候が稲作よりも乳牛の飼育に適していたため
 3. 急峻な山地が多く機械化が困難なため、人の手による労働集約的な飼育が伝統的に行われてきたため
 4. 温暖な気候を利用して、一年に二度同じ土地で稲を栽培する二期作を行うよりも効率が良かったため
- 問9 北海道の農業統計において、1970年代後半から約40年間で、稲の作付面積と総収穫量が減少している一方で、単位面積あたりの収穫量が増加している現象を説明する用語として、最も適切なものはどれですか。（2019年 岡山県公立入試 類似）
1. 自給足率の低下
 2. 農業生産性の向上
 3. 耕作放棄地の拡大
 4. 促成栽培の普及
- 問10 日本の諸地域の特色をまとめた統計において、人口が約532万人であり、豊かな自然環境を背景に宿泊施設の延べ宿泊者数が約356万人、温泉地数が244箇所と全国的にも上位に位置する一方で、国宝の指定件数が1件にとどまっている地域はどこですか。（2023年 福岡県公立入試 類似）
1. 関東地方
 2. 北海道地方
 3. 九州地方
 4. 中部地方
- 問11 東京都から各道県への旅客輸送に関する統計において、ある道県は鉄道の利用者が約19万人であるのに対し、航空機の利用者が約627万人と突出して多くなっています。この統計が示す道県の名称と、航空機の利用割合が極めて高い理由の組み合わせとして最も適切なものを次から選びなさい。（2022年 栃木県公立入試 類似）
1. 道県名は大阪府であり、ビジネス客の利便性を高めるために航空路線の便数が鉄道の運行本数を上回っているから
 2. 道県名は北海道であり、青函トンネルが貨物専用となっており、旅客が鉄道で海を渡ることができないから。
 3. 道県名は新潟県であり、山岳地帯を通過する鉄道よりも、直線的に移動できる航空機の方が効率が良いから。
 4. 道県名は北海道であり、東京都からの移動距離が長いため、所要時間の短い航空機が優先的に選択されているから。

答え合わせ・解説

問1	答え 1 洪水の被害を軽減して水を速やかに海へ流し、泥炭地を排水して農地を拡大するため。	石狩平野のような低湿地では、かつて河川が激しく蛇行していたため、大雨のたびに氾濫による深刻な洪水被害が発生していました。流路を直線化する工事（ショートカット）を行うことで、増水した河川の水を速やかに海へ排出できるようになり、治水機能が向上しました。これにより、もともと水分を多く含んでいた泥炭地の排水が進み、畚盤目状の区画を持つ大規模な稲作地帯などの農地へと転換することが可能になりました。
問2	答え 3 生産技術の向上や寒さに強い品種改良が進み、土地あたりの生産性が高まったため。	北海道の稲作は、かつては寒冷地ゆえの不作に悩まされてきましたが、農業機械の導入などの生産技術の進歩や、「ゆめぴりか」や「ななつぼし」といった耐冷性に優れた品種改良の努力により、単位面積あたりの収穫量（土地生産性）を向上させてきました。米の消費量減少に伴う減反政策などで作付面積や総収穫量自体は減っていますが、技術革新によって効率的な生産が可能になっています。
問3	答え 4 農業従事者一人あたりの耕地面積と、一人あたりのトラクター保有台数	北海道は明治時代以降の開拓の歴史から、農家一戸あたりの経営規模が他の都府県に比べて非常に大きいという特徴があります。広大な農地を少人数で効率よく耕作するために、トラクターなどの大型機械を積極的に導入した結果、一人あたりの耕地面積およびトラクター保有台数の両項目において、全国平均を大きく上回る統計値を示しています。
問4	答え 3 客土	石狩平野などの低湿地には、枯れた植物が腐敗せずに堆積した「泥炭地」が多く分布しており、そのままでは水はけが悪く養分も乏しいため、稲作には向きませんでした。そこで、別の場所から肥沃な土や砂を運んでくる「客土（きゃくど）」という技術が大規模に行われました。これにより土壌の質が向上し、現在のような大規模な稲作地帯へと発展した歴史があります。選択肢にある「干拓」は海や湖を陸地にする、「輪作」は同じ土地で異なる種類の作物を交互に栽培することを指します。
問5	答え 2 労働力不足や高齢化に対応し、作業の負担軽減や効率化を図ること	北海道の農業は一戸あたりの経営面積が非常に大きいという特徴がありますが、農業従事者の高齢化や減少により、人手不足が深刻な課題となっています。スマート農業は、自動運転トラクターやドローンなどの先端技術を活用することで、大規模な農地での作業を少ない人数で効率よく行い、身体的な負担を減らすために導入されています。
問6	答え 3 生産された生乳の8割以上が、バターやチーズなどの加工用として利用されている。	北海道の農業は、広大な土地を活かした大規模な経営が特徴です。統計資料によると、北海道の耕地はその多くが牧草地であり、そこで生産される生乳の約8割以上がバターやチーズなどの加工用原料に充てられています。これは、都府県の生乳が主に鮮度が重視される飲用として利用されている状況とは対照的です。
問7	答え 1 1戸あたりの耕地面積が広く、大型機械を活用した大規模な土地利用型農業が行われている	北海道の農業は、他都府県と比較して農家1戸あたりの経営面積が非常に大きいことが最大の特徴です。特に小麦や大豆、てんさいなどの畑作においては、トラクターなどの大型農業機械を導入した「土地利用型農業」を行うことで、少ない労働力で広大な面積を管理し、高い生産性を実現しています。これにより、国内の小麦需要を支える重要な供給源となっています。
問8	答え 2 広大な土地を活用した大規模経営が可能であり、冷涼な気候が稲作よりも乳牛の飼育に適していたため	北海道の農業産出額において畜産の割合が高いのは、土地の広大さと気候条件が関係しています。特に根釧台地は冷涼なため、かつては米作りが困難な「冷害」に悩まされてきましたが、その広さを活かして牧草地を確保し、寒さに強い乳牛を育てる酪農へとシフトしたことで、大規模な食料供給基地となりました。他の選択肢にある「二期作」は温暖な地域、「東京への近接性」は近郊農業の解説です。
問9	答え 2 農業生産性の向上	限られた土地からより多くの農産物を得られるようになることは、農業における「生産性の向上」を意味します。北海道では、大規模な農地を活かした機械化や、寒冷な気候に対応した育種技術の確立によって、少ない面積でも効率よく収穫を得る体制が整えられてきました。これは単なる面積の増減ではなく、技術的な進歩を指す重要な概念です。
問10	答え 2 北海道地方	北海道は、広大な土地と豊かな自然資源を活かした観光業が盛んで、温泉地数や宿泊者数は全国有数の規模を誇ります。一方で、明治時代以降の開拓が歴史の中心であるため、近世以前の文化財を中心とする国宝の指定件数は、古くからの歴史を持つ他の地方に比べて少ない傾向にあります。
問11	答え 4 道県名は北海道であり、東京都からの移動距離が長いこと、所要時間の短い航空機が優先的に選択されているから。	東京都から北海道への移動は、距離が非常に長く時間がかかるため、新幹線などの鉄道よりも高速な航空機が選ばれる傾向が顕著です。一般に、交通手段の選択においては「4時間の壁」と呼ばれる基準があり、鉄道（新幹線）での所要時間が4時間を超える場合、航空機のシェアが圧倒的に高くなります。新潟県や大阪府は東京都からの距離が比較的近く、鉄道（新幹線）の利用割合が高い地域であるため、提示された統計データには合致しません。